# 【表紙】

| | |
|---|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の４の７第１項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年10月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第26期第２四半期(自　平成25年６月１日　至　平成25年８月31日) |
| 【会社名】 | 株式会社ワンダーコーポレーション |
| 【英訳名】 | WonderCorporation |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長　　日　下　孝　明 |
| 【本店の所在の場所】 | 茨城県つくば市西大橋599番地１ |
| 【電話番号】 | 029(853)1313　(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長　　塚　田　英　雄 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 茨城県つくば市西大橋599番地１ |
| 【電話番号】 | 029(853)1313　(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長　　塚　田　英　雄 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>(東京都中央区日本橋兜町２番１号) |

# 第一部 【企業情報】

# 第１ 【企業の概況】

## １ 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第25期<br>第２四半期<br>連結累計期間 | 第26期<br>第２四半期<br>連結累計期間 | 第25期 |
|---|---|---|---|---|
| 会計期間 | | 自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日 | 自　平成25年３月１日<br>至　平成25年８月31日 | 自　平成24年３月１日<br>至　平成25年２月28日 |
| 売上高 | (千円) | 32,930,817 | 42,485,887 | 69,732,035 |
| 経常利益 | (千円) | 354,337 | 228,649 | 845,826 |
| 四半期(当期)純利益 | (千円) | 49,728 | 138,556 | 695,623 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 68,520 | 190,539 | 734,080 |
| 純資産額 | (千円) | 10,317,504 | 12,517,951 | 12,493,381 |
| 総資産額 | (千円) | 29,944,650 | 42,375,945 | 38,308,988 |
| １株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | 9.51 | 25.76 | 131.30 |
| 潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | ― | ― | ― |
| 自己資本比率 | (%) | 34.3 | 25.8 | 28.5 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 1,088,633 | 17,957 | 760,013 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | △577,753 | △1,917,638 | △898,138 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 41,259 | 2,645,122 | 1,355,062 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 | (千円) | 1,516,370 | 2,926,609 | 2,181,167 |

| 回次 | | 第25期<br>第２四半期<br>連結会計期間 | 第26期<br>第２四半期<br>連結会計期間 |
|---|---|---|---|
| 会計期間 | | 自　平成24年６月１日<br>至　平成24年８月31日 | 自　平成25年６月１日<br>至　平成25年８月31日 |
| １株当たり四半期純利益金額又は１株当たり四半期純損失金額(△) | (円) | △9.37 | 44.49 |

(注) １．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
２．売上高には、消費税等は含まれておりません。
３．潜在株式調整後１株当たり当期純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
４．平成25年９月１日付で普通株式１株につき100株の株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期（当期）純利益金額を算定しております。

## 2 【事業の内容】

当第２四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（１）WonderGOO事業

第１四半期連結会計期間より、株式会社ニューウェイブディストリビューションを新規設立しております。

（２）WonderREX事業

関係会社の異動はありません。

（３）TSUTAYA事業

関係会社の異動はありません。

（４）新星堂事業

関係会社の異動はありません。

（５）その他事業

関係会社の異動はありません。

# 第２ 【事業の状況】

## １ 【事業等のリスク】

当第２四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

## ２ 【経営上の重要な契約等】

当第２四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

## ３ 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（１）経営成績の分析

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策の効果等を背景とする円安株高が進行し、消費マインドが好転しつつあるものの、雇用情勢や実体経済は依然として厳しく、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは更なる事業拡大のため、TSUTAYA事業を展開している株式会社ケイ・コーポレーションと平成25年８月に資本業務提携契約を締結いたしました。

WonderGOO事業におきましては、平成25年７月に、シニア層からキッズ層までの３世代で楽しめる次世代型実験店舗として「WonderGOO宇都宮店」を改装いたしました。また、新星堂事業との共同仕入による値入率の改善、ポイント付与率の見直し、アミューズ機器の全店導入等による売上総利益率の改善や、店舗運営経費の圧縮、ＬＥＤ照明の導入等による販管費の削減を図ってまいりましたが、売上高減少による売上総利益高の減少を補うことができず、厳しい状況が続きました。

WonderREX事業におきましては、販売チャネルを拡大するため、店頭商品をオンラインショップに出品し、店舗では販売が困難だった稀少品を全国規模でご提供することが可能となりました。また、お客様が寛げるコーナーとしてカフェ自販機やキッズスペースを「WonderREX竜ヶ崎店」等に設置し、よりお客様にご来店しやすい店舗環境を整備いたしました。

TSUTAYA事業におきましては、TSUTAYAのＦＣ企業様から11店舗の営業を譲受け、内４店舗においてWonderGOO事業のゲーム売場を併設するなど、事業の拡大に努めてまいりました。また、連結子会社である株式会社サンレジャーにおいて、独自で展開している有料の年間会員サービス「ファースト会員」の増加により、安定的な収益を獲得することができました。

新星堂事業におきましては、音楽ソフト及び映像ソフトの新規発売タイトルの不足等により売上高が減少したものの、在庫管理に関するシステム環境の整備が完了し詳細なデータの把握が可能となったことから、より実態を反映する在庫評価方法に変更したことで売上総利益高は増加いたしました。

店舗面におきましては、当第２四半期連結会計期間末の店舗数はWonderGOO事業102店舗（内、ＦＣ22店舗）、WonderREX事業17店舗、TSUTAYA事業62店舗、新星堂事業131店舗、合計312店舗となりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は42,485百万円（前年同期比29.0%増)、営業利益156百万円（前年同期比45.4%減)、経常利益228百万円（前年同期比35.5%減）、四半期純利益につきましては、連結子会社である株式会社新星堂の本社移転に伴う本社ビル売却の特別利益の発生等が加わり、138百万円（対前期比178.6%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、WonderGOO事業の売上高は25,836百万円（前年同期比7.5%減)、営業利益は74百万円（前年同期比50.0%減)、WonderREX事業の売上高は2,844百万円（前年同期比8.0%増)、営業利益は96百万円（前年同期比25.6%増）、TSUTAYA事業の売上高は4,999百万円（前年同期比123.9%増)、営業損失は39百万円（前年同期は46百万円の営業利益)、その他事業の売上高は142百万円（前年同期比6.2%増)、営業利益は19百万円（前年同期比42.7%増)、また、前連結会計年度末において、株式会社新星堂を連結子会社化したことに伴い、新たに新星堂事業を追加しており、新星堂事業の売上高は8,662百万円、営業利益は０百万円となりました。

（２）財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、23,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,664百万円増加いたしました。これは主に商品が1,385百万円、現金及び預金が744百万円増加したとによるものです。

(固定資産)

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、18,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,402百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が316百万円減少したものの、有形固定資産が1,514百万円増加、無形固定資産が204百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、20,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,907百万円増加いたしました。これは主に買掛金が1,106百万円、短期借入金が2,820百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、8,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ134百万円増加いたしました。これは主に長期預り保証金が43百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、12,517百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益138百万円と、剰余金の配当134百万円の支払いによるものです。

**（３）キャッシュ・フローの状況**

**当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ745百万円増加し、2,926百万円となりました。**

**当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロ－の状況とそれらの要因は次のとおりであります。**

**（営業活動によるキャッシュ・フロ－）**

**営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、税金等調整前四半期純利益が269百万円、減価償却費が656百万円、仕入債務の増加により1,106百万円資金が増加したものの、たな卸し資産の増加により1,372百万円資金が減少したため17百万円の資金の増加（前年同四半期は1,088百万円の資金の増加）となりました。**

**（投資活動によるキャッシュ・フロ－）**

**投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入により419百万円、敷金及び保証金の回収による収入により331百万円資金が増加したものの、有形固定資産の取得1,925百万円を支出したことにより、1,917百万円の資金の減少（前年同四半期は577百万円の資金の減少）となりました。**

**（財務活動によるキャッシュ・フロ－）**

**財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額により2,820百万円増加したことにより2,645百万円の増加（前年同四半期は41百万円の資金の増加）となりました。**

**（４）事業上及び財務上の対処すべき課題**

**当第２四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。**

# 第３ 【提出会社の状況】

## １ 【株式等の状況】

### (1) 【株式の総数等】

#### ① 【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|---|---|
| 普通株式 | 124,720 |
| 計 | 124,720 |

（注）平成25年５月23日開催の第25期定時株主総会において、平成25年９月１日を効力発生日として株式分割および単元株制度の採用に伴う定款変更を行い、平成25年９月１日付で発行可能株式総数は12,347,280株増加し、12,472,000株となっております。

#### ② 【発行済株式】

| 種類 | 第２四半期会計期間末現在発行数(株)（平成25年８月31日） | 提出日現在発行数(株)（平成25年10月11日） | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 普通株式 | 54,036 | 5,403,600 | 東京証券取引所<br>JASDAQ<br>(スタンダード) | 単元株式数<br>100株 |
| 計 | 54,036 | 5,403,600 | ― | ― |

（注）平成25年５月23日開催の第25期定時株主総会において、平成25年９月１日を効力発生日として、株式分割および単元株制度の採用に伴う定款の変更を行い、単元株式は100株となっております。

### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数(株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額(千円) | 資本金残高(千円) | 資本準備金増減額(千円) | 資本準備金残高(千円) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成25年６月１日～平成25年８月31日 | ― | 54,036 | ― | 2,358,900 | ― | 2,360,793 |

（注）平成25年９月１日を効力発生日として、株式分割を行っております。これにより、平成25年９月１日付で発行済株式総数は5,349,564株増加し、5,403,600株となっております。

(6) 【大株主の状況】

平成25年８月31日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|---|---|---|---|
| 株式会社カスミ | 茨城県つくば市西大橋599番地1 | 24,042 | 44.5 |
| 株式会社ケーズホールディングス | 茨城県水戸市柳町1丁目13番20号 | 11,022 | 20.4 |
| 日　下　孝　明 | 東京都渋谷区 | 2,887 | 5.3 |
| 株式会社デンコードー | 宮城県名取市上余田字千刈田308番地 | 2,160 | 4.0 |
| カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 | 大阪市北区梅田2丁目5番25号 | 2,094 | 3.9 |
| 小　林　哲　美 | 茨城県つくば市 | 1,000 | 1.9 |
| ワンダーコーポレーション従業員持株会 | 茨城県つくば市西大橋599番地1 | 913 | 1.7 |
| 宇津木　雅　美 | 茨城県稲敷郡美浦村 | 610 | 1.1 |
| 株式会社サンレジャー | 東京都千代田区神田相生町１番地 | 400 | 0.7 |
| 加　藤　修　一 | 茨城県水戸市 | 279 | 0.5 |
| 計 | ― | 45,407 | 84.0 |

(注)　株式会社サンレジャーが所有している株式については、会社法施行規則第67条の規定により議決権の行使が制限されております。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年８月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|---|---|---|---|
| 無議決権株式 | ― | ― | ― |
| 議決権制限株式(自己株式等) | ― | ― | ― |
| 議決権制限株式(その他) | ― | ― | ― |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式　400 | ― | ― |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式　53,636 | 53,636 | ― |
| 単元未満株式 | ― | ― | ― |
| 発行済株式総数 | 54,036 | ― | ― |
| 総株主の議決権 | ― | 53,636 | ― |

② 【自己株式等】

平成25年８月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社サンレジャー | 東京都千代田区神田相生町1番地 | 400 | ― | 400 | 0.7 |
| 計 | ― | 400 | ― | 400 | 0.7 |

## 2 【役員の状況】

**該当事項はありません。**

# 第４ 【経理の状況】

**１．四半期連結財務諸表の作成方法について**

**当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。**

**２．監査証明について**

**当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第２四半期連結会計期間(平成25年６月１日から平成25年８月31日まで)及び第２四半期連結累計期間(平成25年３月１日から平成25年８月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。**

# 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度<br>(平成25年２月28日) | 当第２四半期連結会計期間<br>(平成25年８月31日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,182,217 | 2,926,609 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,451,873 | 1,780,836 |
| 商品 | 13,925,169 | 15,311,146 |
| 貯蔵品 | 34,218 | 18,429 |
| 未収入金 | 1,788,796 | 1,788,320 |
| 繰延税金資産 | 836,005 | 779,166 |
| その他 | 740,528 | 1,020,030 |
| 貸倒引当金 | △6,399 | △7,197 |
| 流動資産合計 | 20,952,409 | 23,617,342 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,924,504 | 5,126,394 |
| その他（純額） | 2,985,762 | 4,298,195 |
| 有形固定資産合計 | 7,910,267 | 9,424,590 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 599,732 | 789,985 |
| その他 | 430,910 | 445,221 |
| 無形固定資産合計 | 1,030,642 | 1,235,206 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 6,339,327 | 6,341,295 |
| その他 | 2,326,049 | 1,960,938 |
| 貸倒引当金 | △249,708 | △203,427 |
| 投資その他の資産合計 | 8,415,668 | 8,098,805 |
| 固定資産合計 | 17,356,578 | 18,758,602 |
| 資産合計 | 38,308,988 | 42,375,945 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度<br>(平成25年２月28日) | 当第２四半期連結会計期間<br>(平成25年８月31日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,870,082 | 7,976,821 |
| 短期借入金 | 4,150,000 | 6,970,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,930,835 | 1,994,952 |
| 未払法人税等 | 454,563 | 139,570 |
| 賞与引当金 | 169,102 | 179,528 |
| ポイント引当金 | 1,400,567 | 1,199,103 |
| その他 | 2,110,726 | 2,533,460 |
| 流動負債合計 | 17,085,878 | 20,993,436 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,514,114 | 5,521,759 |
| 退職給付引当金 | 575,688 | 576,724 |
| 長期預り保証金 | 327,080 | 371,060 |
| 資産除去債務 | 848,257 | 822,344 |
| 繰延税金負債 | 361,548 | 282,769 |
| その他 | 1,103,039 | 1,289,898 |
| 固定負債合計 | 8,729,728 | 8,864,557 |
| 負債合計 | 25,815,607 | 29,857,993 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,358,900 | 2,358,900 |
| 資本剰余金 | 2,379,688 | 2,379,688 |
| 利益剰余金 | 6,188,762 | 6,193,229 |
| 自己株式 | △15,230 | △15,592 |
| 株主資本合計 | 10,912,121 | 10,916,226 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 36 | 266 |
| その他の包括利益累計額合計 | 36 | 266 |
| 新株予約権 | 40,957 | ― |
| 少数株主持分 | 1,540,266 | 1,601,458 |
| 純資産合計 | 12,493,381 | 12,517,951 |
| 負債純資産合計 | 38,308,988 | 42,375,945 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　平成25年３月１日<br>至　平成25年８月31日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 32,930,817 | 42,485,887 |
| 売上原価 | 23,700,370 | 28,802,437 |
| 売上総利益 | 9,230,446 | 13,683,450 |
| 販売費及び一般管理費 | ※ 8,944,911 | ※ 13,527,409 |
| 営業利益 | 285,535 | 156,041 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 22,276 | 22,321 |
| 受取手数料 | 61,564 | 75,590 |
| その他 | 47,299 | 61,821 |
| 営業外収益合計 | 131,140 | 159,734 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 60,966 | 74,270 |
| その他 | 1,372 | 12,855 |
| 営業外費用合計 | 62,338 | 87,125 |
| 経常利益 | 354,337 | 228,649 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 7,177 | 92,541 |
| 新株予約権戻入益 | 167 | 40,957 |
| 事業構造改善引当金戻入額 | ― | 9,809 |
| 特別利益合計 | 7,344 | 143,308 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | ― | 29,208 |
| 減損損失 | 44,608 | 40,220 |
| 貸倒引当金繰入額 | 90,116 | 33,000 |
| 特別損失合計 | 134,724 | 102,428 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 226,957 | 269,528 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 167,324 | 75,541 |
| 法人税等調整額 | △9,180 | 3,886 |
| 法人税等合計 | 158,143 | 79,428 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 68,813 | 190,100 |
| 少数株主利益 | 19,085 | 51,543 |
| 四半期純利益 | 49,728 | 138,556 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成25年３月１日<br>至　平成25年８月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 68,813 | 190,100 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △293 | 438 |
| その他の包括利益合計 | △293 | 438 |
| 四半期包括利益 | 68,520 | 190,539 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 49,484 | 138,787 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 19,035 | 51,752 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自 平成24年３月１日<br>至 平成24年８月31日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自 平成25年３月１日<br>至 平成25年８月31日) |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 226,957 | 269,528 |
| 減価償却費 | 512,921 | 656,181 |
| 減損損失 | 44,608 | 40,220 |
| のれん償却額 | 23,989 | 68,920 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △5,763 | 10,425 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 3,722 | 1,036 |
| ポイント引当金の増減額（△は減少） | 42,651 | △201,464 |
| 受取利息及び受取配当金 | △22,398 | △22,841 |
| 支払利息 | 60,966 | 74,270 |
| 固定資産売却損益（△は益） | △7,177 | △92,541 |
| 固定資産除却損 | － | 29,208 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 30,897 | △328,962 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 15,442 | △1,372,673 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 174,239 | 1,106,738 |
| その他 | 52,666 | 206,048 |
| 小計 | 1,153,724 | 444,095 |
| 利息及び配当金の受取額 | 361 | 2,522 |
| 利息の支払額 | △60,336 | △73,346 |
| 災害による損失支払額 | △4,841 | － |
| 法人税等の支払額 | △274 | △355,313 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,088,633 | 17,957 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | － | 1,050 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △249,195 | △1,925,131 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 7,714 | 419,156 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △20,376 | △35,212 |
| 資産除去債務の履行による支出 | － | △43,625 |
| 投資有価証券の取得による支出 | － | △599 |
| 投資有価証券の売却による収入 | － | 5,303 |
| 貸付金の回収による収入 | 575 | 990 |
| 貸付けによる支出 | △39,680 | － |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △62,110 | △133,693 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 247,661 | 331,509 |
| 営業譲受による支出 | － | △480,798 |
| 子会社株式の取得による支出 | － | △15,000 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △449,387 | － |
| その他 | △12,953 | △41,587 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △577,753 | △1,917,638 |

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成25年３月１日<br>至　平成25年８月31日） |
|---|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 561,000 | 2,820,000 |
| 長期借入れによる収入 | 200,000 | 1,520,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △763,246 | △1,448,236 |
| 子会社の自己株式の取得による支出 | － | △32 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | － | 10,000 |
| リース債務の返済による支出 | △58,983 | △122,823 |
| 配当金の支払額 | △129,337 | △133,785 |
| 自己株式の売却による収入 | 231,826 | － |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 41,259 | 2,645,122 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 552,139 | 745,441 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 964,230 | 2,181,167 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ※ 1,516,370 | ※ 2,926,609 |

**【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】**

| 当第２四半期連結累計期間<br>(自　平成25年３月１日　至　平成25年８月31日) |
|---|
| （連結の範囲の重要な変更）<br>第１四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ニューウェイブディストリビューションを連結の範囲に含めております。 |

**【会計方針の変更等】**

| 当第２四半期連結累計期間<br>(自　平成25年３月１日　至　平成25年８月31日) |
|---|
| （減価償却方法の変更）<br>当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年３月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。<br>これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ11,217千円増加しております。 |

**【追加情報】**

| 当第２四半期連結累計期間<br>(自　平成25年３月１日　至　平成25年８月31日) |
|---|
| （たな卸資産の収益性の低下に基づく簿価の切り下げにおける計算方法の変更）<br>当社の連結子会社である㈱新星堂は、通常の販売目的で保有するたな卸資産の収益性の低下による簿価切下額の計算方法について、当第２四半期連結会計期間において在庫管理に関するシステム環境の整備が完了し詳細なデータの把握が可能となったことから、より実態を反映する在庫評価方法に変更しております 。<br>これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は264,635千円増加しております。 |

**【注記事項】**

**(四半期連結損益計算書関係)**

※　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　平成25年３月１日<br>至　平成25年８月31日) |
|---|---|---|
| 従業員給料及び賞与 | 3,377,972千円 | 5,044,382千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 173,306千円 | 164,625千円 |
| 退職給付費用 | 56,849千円 | 100,394千円 |
| 水道光熱費 | 466,908千円 | 581,120千円 |
| 減価償却費 | 497,303千円 | 620,789千円 |
| 地代家賃 | 1,544,942千円 | 2,860,497千円 |

**(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)**

※　現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　平成25年３月１日<br>至　平成25年８月31日) |
|---|---|---|
| 現金及び預金 | 1,516,370千円 | 2,926,609千円 |
| 現金及び現金同等物 | 1,516,370千円 | 2,926,609千円 |

**（株主資本等関係）**

**前第２四半期連結累計期間(自　平成24年３月１日　至　平成24年８月31日)**

**１．配当金支払額**

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | １株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成24年４月９日取締役会 | 普通株式 | 127,872 | 2,500 | 平成24年２月29日 | 平成24年５月９日 | 利益剰余金 |

**２．基準日が当第２四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第２四半期連結会計期間の末日後となるもの**

該当事項はありません。

**３．株主資本の著しい変動**

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

**当第２四半期連結累計期間(自　平成25年３月１日　至　平成25年８月31日)**

**１．配当金支払額**

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | １株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成25年４月８日取締役会 | 普通株式 | 135,090 | 2,500 | 平成25年２月28日 | 平成25年５月８日 | 利益剰余金 |

(注)　連結子会社が所有している自己株式に係る受取配当金（1,000千円）を含めております。

**２．基準日が当第２四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第２四半期連結会計期間の末日後となるもの**

該当事項はありません。

**３．株主資本の著しい変動**

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

**(セグメント情報等)**

**【セグメント情報】**

**Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年３月１日 至 平成24年８月31日)**

**１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報**

**(単位：千円)**

| | 報告セグメント | | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | WonderGOO | WonderREX | TSUTAYA | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,930,218 | 2,633,409 | 2,232,866 | 32,796,494 | 134,322 | 32,930,817 | ― | 32,930,817 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | ― | ― | 5,868 | 5,868 | 12,848 | 18,716 | △18,716 | ― |
| 計 | 27,930,218 | 2,633,409 | 2,238,734 | 32,802,362 | 147,170 | 32,949,533 | △18,716 | 32,930,817 |
| セグメント利益 | 149,191 | 76,732 | 46,185 | 272,109 | 13,425 | 285,535 | ― | 285,535 |

(注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サプライ用品の販売等を含んでおります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

**Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年３月１日 至 平成25年８月31日)**

**１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報**

**(単位：千円)**

| | 報告セグメント | | | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | WonderGOO | WonderREX | TSUTAYA | 新星堂 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 25,836,773 | 2,844,596 | 4,999,012 | 8,662,847 | 42,343,229 | 142,658 | 42,485,887 | ― | 42,485,887 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 186,126 | ― | 40,886 | 21,000 | 248,012 | 14,710 | 262,723 | △262,723 | ― |
| 計 | 26,022,899 | 2,844,596 | 5,039,898 | 8,683,847 | 42,591,242 | 157,368 | 42,748,610 | △262,723 | 42,485,887 |
| セグメント利益又は損失(△) | 74,548 | 96,368 | △39,268 | 690 | 132,339 | 19,155 | 151,495 | 4,545 | 156,041 |

(注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サプライ用品の販売等を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額4,545千円は、セグメント間取引消去であります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
４．「追加情報」に記載のとおり、当社の連結子会社である㈱新星堂は、当第２四半期連結会計期間より、通常の販売目的で保有するたな卸資産の収益性の低下による簿価切下額の計算方法を変更しております。この結果、従来の方法に比べて当第２四半期連結累計期間の「新星堂事業」のセグメント利益は264,635千円増加しております。

**２．報告セグメントの変更等に関する事項**

前連結会計年度末において株式会社新星堂を当社の連結子会社とし、報告セグメント「新星堂事業」を新たに追加しております。

**(１株当たり情報)**

**１株当たり四半期純利益金額又は１株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。**

| 項目 | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　平成25年３月１日<br>至　平成25年８月31日) |
|---|---|---|
| １株当たり四半期純利益金額 | ９円51銭 | 25円76銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益(千円) | 49,728 | 138,556 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | ― | ― |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 49,728 | 138,556 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 5,228,171 | 5,378,943 |

(注) １．潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
２．当社は、平成25年９月１日を効力発生日として、普通株式１株を100株に分割し、１単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益金額を算定しております。

**(重要な後発事象)**

**（株式取得による会社等の買収）**

**当社は、平成25年８月29日開催の取締役会において、株式会社ケイ・コーポレーションの株式を取得し、子会社化することを決議し、平成25年９月１日付で、子会社化いたしました。**

**１．取得による企業結合の概要**

**(1) 被取得企業の名称及び事業の内容**

| | |
|---|---|
| 被取得企業の名称 | 株式会社ケイ・コーポレーション |
| 事業の内容 | 音楽・映像ソフト、書籍、ゲームの販売及び音楽・映像ソフト、コミック等のレンタル |

**(2) 企業結合を行った主な理由**

**株式会社ケイ・コーポレーションは音楽・映像ソフトやコミックレンタル等のTSUTAYA事業を17店舗（平成25年９月１日現在）を展開しております。群馬県、宮城県を中心に展開しており、当社と重複しない地域における立地での２社の連携は市場シェア拡大等の相互補完の関係にあります。**

**また、当社子会社である株式会社サンレジャーと同じTSUTAYA事業を取り扱うことから、共同商品調達・共同商品開発による顧客価値の増大、人事交流や店舗運営ノウハウの共有による生産性の向上といったシナジーを得ることも可能となります。**

**当社は、株式会社ケイ・コーポレーションの有するエリア及び人的資産によるノウハウを活用し、消費者のニーズに応えるための専門性及び利便性の更なる強化、より効率的な店舗運営を達成することで、業種業態を超えた企業間競争が激化するエンタテインメント小売業界の再構築を目指しております。**

**(3) 企業結合日**

**平成25年９月１日**

**(4) 企業結合の法的形式**

**株式取得**

(5) 結合後企業の名称

株式会社ケイ・コーポレーション

(6) 取得した議決権比率

| | |
|---|---|
| 企業結合直前に所有している議決権比率 | 33.3% |
| 企業結合日に追加取得した議決権比率 | 33.2% |
| 取得後の議決権比率 | 66.5% |

（注）企業結合直前に所有していた議決権比率は当社の連結子会社である株式会社サンレジャーが所有していた議決権比率であります。

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が議決権の66.5%を獲得したためであります。

2．被取得企業の取得原価及びその内訳

| | | |
|---|---|---|
| 取得の対価 | 従来から保有している株式会社ケイ・コーポレーションの株式の企業結合日における時価 | 100,000千円 |
| | 企業結合日において取得する株式会社ケイ・コーポレーションの株式の時価 | 99,500千円 |
| 取得に直接要した費用 | アドバイザリー費用等 | 2,800千円 |
| 合計 | | 202,300千円 |

3．被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

―千円

4．企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

| | |
|---|---|
| 流動資産 | 1,065,606千円 |
| 固定資産 | 1,086,733千円 |
| 資産合計 | 2,152,340千円 |
| 流動負債 | 927,529千円 |
| 固定負債 | 851,742千円 |
| 負債合計 | 1,779,271千円 |
| 少数株主持分 | 124,978千円 |

5．発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生した負ののれんの金額

45,791千円

(2) 発生原因

企業結合時の時価純資産の持分が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれんとして計上する見込であります。

**（重要な資産の譲渡）**

**当社の子会社である株式会社新星堂は、平成25年９月26日の取締役会において、下記のとおり、固定資産を譲渡することについて決議いたしました。**

**１．譲渡の理由**

**資産効率の向上と財務体質の強化のため下記物件を譲渡することといたしました。**

**２．譲渡資産の内容**

| 譲渡資産の内容及び所在地 | 帳簿価格 | 譲渡価格 | 現況 |
|---|---|---|---|
| 千葉県柏市柏一丁目822番地22号<br>土地　647.97㎡<br>建物　2,868.15㎡ | 799,877千円 | 2,000,080千円 | 新星堂　柏店 |

**３．譲渡先の概要**

**譲渡先は国内の不動産事業者であり、譲渡先との取り決めにより公表を控えさせていただきます。**

**なお、当社と譲渡先との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はありません。**

**４．譲渡の日程**

**取締役会決議　平成25年９月26日**

**譲渡契約締結　平成25年９月26日**

**物件引渡日　平成25年10月末日(予定)**

**５．当該事象の損益に与える影響額**

**平成26年２月期第３四半期決算において、固定資産売却益1,178,582千円（概算額）を計上する予定であります。**

## ２ 【その他】

**該当事項はありません。**

# 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

**該当事項はありません。**

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月10日

株式会社 ワンダーコーポレーション
　取締役会　御中

有限責任監査法人トーマツ

| | | |
|---|---|---|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 大　髙　俊　幸　印 |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 坂　本　一　朗　印 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワンダーコーポレーションの平成25年３月1日から平成26年２月28日までの連結会計年度の第２四半期連結会計期間(平成25年６月１日から平成25年８月31日まで)及び第２四半期連結累計期間(平成25年３月１日から平成25年８月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

**監査人の結論**

**当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワンダーコーポレーション及び連結子会社の平成25年８月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第２四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。**

**強調事項**

**重要な後発事象に記載されているとおり、会社の連結子会社である株式会社新星堂は平成25年９月26日の取締役会において、重要な資産を譲渡することについて決議した。**

**当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。**

**利害関係**

**会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。**

**以　上**

---

**(注) 1　上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。**
**2　四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。**